

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科2年	単位 2単位
科目コード 201800	科目名 ニット概論	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 岩佐 光輝	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

使用素材や作成方法など、ニット全般にわたる商品と技術について、基礎的な知識を学習する。就職後、デザイナーとして必要な、商品企画や物づくりのための、幅広く体系的な見識と技量の養成を目指す。

ニット製品がどのように作られ、現場で何が求められているかを実務ベースで学び、業界への理解と就職への準備につなげる。現場の視点・業界構造・キャリア形成を踏まえた講義を行う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

授業は、講義を基本とし、その主要な内容は次の通りとする。

1、ニットの基礎知識 (4コマ)

- ①編地と織物及び特性 ②編成の原理
- ③ニットの構造及び分類 ④機能性とデザイン性を踏まえた構造の理解

2、編機 (3コマ)

- ①編機のゲージ ②主要編機の編成方法と特徴 ③編み機の種類と分類

3、ニットの主要素材と解説 (5コマ)

- ①素材の分類 ②主要素材原料の解説 ③環境配慮素材の解説
- ④ニット用糸の必要事項、(編成ゲージと番手、番手のいろいろな計算法及び演習、斜行)

4、ニット用糸の解説 (2コマ)

- ①糸に関する一般的な解説
- ②ニット用糸の必要事項、(編成ゲージと番手、番手のいろいろな計算法及び演習、斜行)

5、ニット生産の解説 (8コマ)

- ①仕様書の解説 ②OEMについて ③生産管理について
- ④国内工場と海外工場の違いについて ⑤生産トラブルの解説
- ⑥コスト構造(糸代、工賃、加工賃など見積もりと価格の背景)

6、ニット業界の職種の解説 (6コマ)

- ①デザイナーと工場の関係性について ②OEM、生産管理、営業職の役割と視点について
- ③CAD、プロセス、技術職の役割と視点 ④デザイナー、MD、マーケティングの役割と視点について

7、工場及び展示会などの見学

【評価方法】

試験 80% 出欠・課題 20%

主要教材図書 文化ファッション大系 工業ニット

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

(株)島精機製作所での技術職や(株)ユニクロでの商品開発、生産工場の経営経験を活かし、ニットの構造・素材・生産工程を現場視点で指導。業界理解と就職に直結する実践的な内容を展開します。

記載者氏名 岩佐 光輝

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH3	科名 ニットデザイン科3年	単位 1
科目コード 201900	科目名 ニット生産概論	授業期間 半期

担当教員(代表) : 浦 豊	共同担当者 :
----------------	---------

教育目標・レベル設定など

ニット業界のリアルな現状説明や業務内容の説明、実務に近い形での製品企画、仕様書作成、利益計算などの演習。
PCを使った絵型作成の実演。就職後に企業の力となれる事を目標にしたカリキュラム。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○前期 14コマ

1~2 現在のニット業界についての説明、流れ

3~4 実際に物が売れた時にどのくらいの利益が出るのか?

製品の価格はどのように決めるのか?コスト計算なども含めた講義と演習
ニット(OEM/ODM/アパレル/etc)として知っておいた方がいい知識と説明

5~6 法人(会社)の立ち上げ方・企業に属さないという選択

編み地の開発①

7~8 インボイス、適格請求発行事業者の説明

編み地の開発②

9~10 島精機システム(APEX)の説明

グループ毎に考える製品提案

11~12 グループ毎に考える製品提案

製品提案の発表-総評

13~14 学生の感性からの商品企画 生産をする事を前提に「企画~売る」までの流れ

ニット生産概論のまとめ

評価方法・対象・比重

課題作品提出物・レポート・プレゼン・提出期限厳守の総合評価 80%

授業態度 20%

主要教材図書

オリジナルプリント

参考図書

その他資料 ニットアイテム各種

授業の特徴と担当教員紹介

現在ニットコンサルタントとして会社を経営している事を生かし、リアルな現状と現場に出て必要とされる人材になる為の指導をする。

記載者書名欄 浦 豊

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KH3	科名	ニットデザイン科 3年	単位	1単位
科目コード		科目名	ファッショナーメーティング	授業期間	前期

担当教員(代表) : 岡部 健史	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

マーケティング・プランディング・商品企画・販売戦略までを講義とグループワークで実践し、今後のブランド運営に活かせるような人材を育てたい。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ

マーケティング・プランディング・商品企画・販売戦略までのプロセスを一気通貫したマーケティングを実践する。

授業計画

マーケティング・プランディング・商品開発・販売戦略を講義し、グループワークで調査・実践を行い、発表を行う。

所要コマ数 : 13コマ (講義 : 30% ・ グループワーク : 50% ・ 発表 : 20%)

講義内容

- ・市場調査／競合分析
- ・ターゲット設定
- ・3C 分析
- ・SWOT 分析
- ・プランディング (可視化・言語化)
- ・4P 分析
- ・販売戦略／出口戦略

マーケティングのフレームワークを講義し、グループワークで調査・実践し、発表を行う。

マーケティング・プランディング・商品企画・販売戦略までを講義と

グループワークで実践し、今後のブランド運営に活かせるような人材を育てたい。

【評価方法】

出席 60% 授業内課題 40%

主要教材図書

参考図書

その他資料

弊社作成マーケティング資料

授業の特徴と担当教員紹介

ビジネスデザイン、デザインコンサルティング会社でマーケティングからプランディング、ブランドディレクション、商品開発・デザイン、出口戦略に至るまで一貫したプロジェクト推進を得意とする。
グループワークを多く取り入れ、学生自身で課題を解決出来るような授業にしていきます。

記載者氏名 グラファイト株式会社 岡部健史

2025年度 カリキュラム科目概要

科コード	KH3	科名	ニットデザイン科3年	単位	4単位
科目コード		科目名	ニットマーチャンダイジング	授業時間	4月～1月末
担当教員（代表）：宮川里絵				共同担当者：	

【授業概要、到達目標・レベル設定】

商品企画・構成・製造工程（横編工場をメインにした依頼書の作成）、生産・品質管理の流れを習得

【授業計画】

マイブランドの作成から派生する、企画立案、MAP類作成、仕様書演習。

月に1回のマーケットリサーチ、年1回のコレクションリサーチ

テーマ		方法	コマ数	備考
マイブランド設定		各自MAP作成	4	
仕様書演習		デモンストレーションを行いながら、決められたアイテムの仕様書作成	8	
素材のピックアップ 番号とゲージの関係性		ブランドを見据えた素材のピックアップと番号とゲージを学ぶ	2	
デザイン画/仕様書		実際に作成する製品に対するアプローチ	2	
スタイル画		マップから派生するスタイル画作成	2	
構成表		アイテムバリエーションを作成	2	
生産管理を学ぶ		上代の設定方法を学ぶ（講義）	1	
仕様書作成		自身で起こしたデザインの仕様書を作成	2	
模擬OEMメーカー体験		お客様からの依頼を想定した仕様書の書き方を学ぶ	2	
マイブランド発表会		MAPや製品を元にブランドの説明	2	
マーケットリサーチ		各自毎月の課題。レポート提出		

【評価方法】

出欠や授業態度、作成物課題提出、年度末の発表、年間のマーケットリサーチレポート提出状況

主要教材図書	
参考図書	模様編み10000
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

企業に入ってから必要と思われる特に仕様書の書き方に関して重点的に指導していきます。

アパレルニット企業にて、CEM事業、ブランド事業を担当。

記載者氏名：宮川里絵

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KH2	科名 ニットデザイン科 2年	単位 2単位
科目コード 504100	科目名 グラフィックワーク	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 高橋 翼

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

実務において必要なパソコンの基本的な操作の習得を目指す。ソフトは現場で必須のデザイン系 Adobe Illustrator/Photoshop と事務系の Microsoft Excel を使用していく。基本操作の他に製品図や仕様書の作成など実務レベルでの流れを学ぶ。

【授業計画】

● 使用ソフト

- Adobe Illustrator / Photoshop
- Microsoft / Excel

● 指導内容

- Tシャツの作成 Illustratorの習得
- ランニングの作成 : Illustratorの習得
- ワイシャツの作成 : Illustratorの習得
- ニットアイテムの作成 : Illustratorの習得
- 柄の作成 : チェック柄などの基本柄の作成
- 画像レタッチ : Photoshopの習得
- 切り抜き加工 : Photoshopの習得
- 基本的関数 : Excelの習得

● 提出課題

- ニット製品図
- カラージュマップ
- Excelテスト
- 最終課題 : Illustrator製品図
- 最終課題 : Excelを使用した仕様書

【評価方法】

評価基準: 出席評価を前提とし、課題提出内容を加味し、総合的に評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

現場で使用するソフトの基本操作の習得。企画書、指示書など実務レベルのアウトプットの表現の習得。

高橋 翼

デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、スポーツメーカーデザイナーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サスティナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。日本インダストリアルデザイン協会 (JIDA) 理事。

記載者氏名 高橋 翼